

# 子ども学科における養護教諭の養成について

－学生のグループインタビューからの考察－

矢野 潔子

Department of Child Development and Education *Yogo* (Nursing) Teacher Training  
－University-Student Focus-Group Interview Evidence－

Kiyoko Yano

## Abstract

We clarified issues in *yogo* (nursing) teacher training at the Department of Child Development and Education and clarified students needs and awareness.

The survey was conducted through group interviews.

We found that students view taking subjects on nursery nursing and experience gained in practical training at nurseries and childcare facilities as important, but the survey also showed that students were dissatisfied with professional studies offered to them as *yogo* teachers.

*Yogo* teacher training at the Department of Child Development and Education requires the following direction:

- 1) Enhancing specializations that satisfy students
- 2) Telling students the advantages of different types of training and obtaining other licenses while providing learning that enables the students themselves to find meaning in experiencing practical nursing training. Teachers must themselves conduct *yogo* training meaningfully by continuously confirming student learning satisfaction.
- 3) Consider supporting students in their willingness to learn  
Specifically, implement a *yogo* “circle” that students suggest and create learning support.
- 4) Create place and opportunity for reaching and keeping in touch with educational fronts so that education meeting *yogo* teacher needs is ensured.

## I. はじめに

養護教諭の免許を取得するための方法は、大学および短期大学、各種学校など、教育課程や養成期間も2～3年と異なり多岐にわたっている。〈資料〉

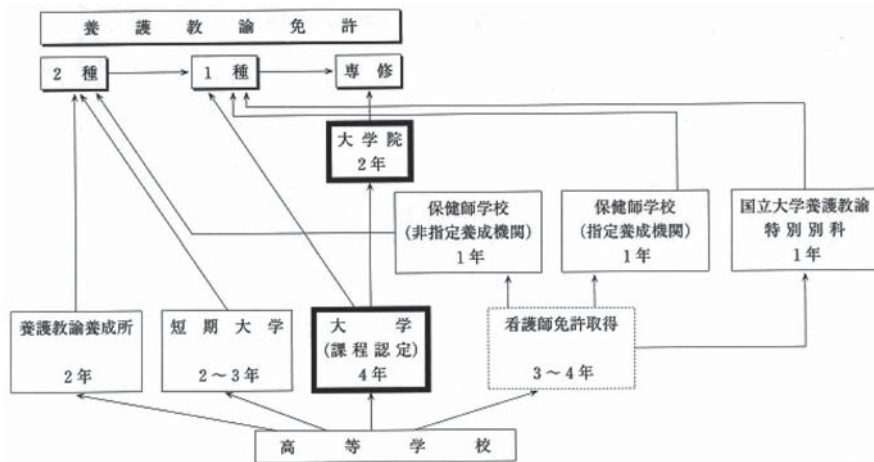
これまで、短期大学での養成により、養護教諭の量的需要をまかなってきた。1996年における養護教諭一種免許状の取得可能大学は、教育学系12校（すべて国立）、看護学+教育学系（特別教科看護教員養成課程）2校、看護学系9校（国立4校、公立1校、私立4校）、その他8校（公立1校、

私立7校)であった<sup>2)</sup>。しかし、2009年4月には、認定課程を有する大学は105校114学部、139学科と増加している。特に、医学部看護学科・看護学部看護学科・看護福祉学部看護学科など(以下、看護系とする)57校、福祉系・家政学系・栄養学系・体育学系など(以下、学際系とする)は47校あり、教育学部養護教諭養成課程(以下、教育学系とする)以外での養成が増えてきている(表1)。看護系の場合、看護師免許と養護教諭一種免許の取得が可能であり、学際系の多くは養護教諭が主専攻ではなく、他免許取得との掛け持ち養成となっている。

2008年(平成20年)中央教育審議会スポーツ・青少年分科会学校健康・安全部会答申では、養護教諭の役割として、応急処置や健康診断、疾病予防などの保健管理、保健教育、健康相談活動、保健室経営、保健組織活動について述べられている。特に、養護教諭の保健教育に果たす役割が大きくなっていることから、教員養成段階における保健教育の充実や子どもの現代的な課題に対応した看護学の履修内容の検討を行うなど、教育の充実が求められている。

学際系において、養護教諭の一種免許を取得できる課程をもつ大学は47校ある。しかし、保育士の資格と養護教諭免許状を習得できる認定課程をもつ大学は数校しかなく、学際系における養護教諭養成の問題点を検討した研究は少ない。

そこで、本研究では保育士の資格や幼稚園教諭、養護教諭、中・高校の英語教諭といった免許状を選択により取得可能な学科(以下、子ども学科)における養護教諭養成の基本的な課題を明らかにすること、学生のニーズや認識を明らかにすることを目的として調査を行った。



資料. 養護教諭の免許を取得するための方法<sup>1)</sup>

表1. 養護教諭の免許資格を通学により取得できる大学

2009年4月1日現在

教育学系(4年)	看護学系(4年)	学際系(4年) 福祉系・家政学系・栄養学系・ 体育学系等	短期大学(2年) 専攻科を含む
<国立> 北海道教育大学 弘前大学 茨城大学 埼玉大学 千葉大学 東京学芸大学 山梨大学※ 愛知教育大学 大阪教育大学 奈良教育大学※ 岡山大学 熊本大学 鹿児島大学 <私立> 四天王寺大学  ※養護教諭が主たる免許では ない課程	<国立> 筑波大学 千葉大学 東京大学 新潟大学 大阪大学 島根大学 広島大学 徳島大学 香川大学 愛媛大学 高知大学 琉球大学 <公立> 岩手県立大学 宮城大学 埼玉県立大学 神奈川県立保健福祉大学 福井県立大学 山梨県立大学 岐阜県立看護大学 滋賀県立大学 兵庫県立大学 山口県立大学 高知女子大学 福岡県立大学 県立長崎シーボルト大学 <私立> 杏林大学 聖母大学 聖路加看護大学 東京女子医科大学 武蔵野大学 北里大学 新潟医療福祉大学 新潟青陵大学 中部大学 京都橋大学 藍野大学 太成学院大学 関西福祉大学 甲南女子大学 神戸常磐大学 兵庫大学 畿央大学 川崎医療福祉大学 吉備国際大学 山陽学院大学 呉大学 福山平成大学 宇部フロンティア大学 四国大学 西南女学院大学 福岡大学 九州看護福祉大学 鹿児島純心女子大学 高橋健康福祉大学 上武大学 桐生大学 名城大学	<国立> 広島大学 <公立> 滋賀県立大学 福井県立大学 埼玉県立大学 <私立> 北翔大学 八戸大学 宮城学院女子大学 仙台大学 東北福祉大学 聖徳大学 帝京平成大学 東京福祉大学 東洋大学 十文字学園女子大学 女子栄養大学 杏林大学 国士舘大学 順天堂大学 帝京大学 東京家政大学 日本体育大学 鎌倉女子大学 松本大学 愛知みずほ大学 愛知学院大学 東海学園大学 名古屋学芸大学 びわこ学院大学 京都女子大学 花園大学 関西福祉科学大学 太成学院大学 帝塚山学院大学 近代姫路大学 園田学園女子大学 姫路獨協大学 兵庫大学 畿央大学 川崎医療福祉大学 福山平成大学 宇部フロンティア大学 徳島文理大学 西南女学院大学 活水女子大学 九州看護福祉大学 鹿児島純心女子大学 名城大学	<公立> 福山市立女子短期大学 <私立> 國學院大學栃木短期大学 聖徳大学短期大学部 帝京短期大学 小松短期大学 飯田女子短期大学 岐阜聖徳学園大学短期大学 愛知みずほ大学短期大学部 名古屋学芸大学短期大学部 鈴鹿国際大学短期大学部 関西女子短期大学 大阪女子短期大学 湊川短期大学 徳島文理大学短期大学部 瀬戸内短期大学 高知学園短期大学 九州女子短期大学 佐賀女子短期大学 鹿児島純心女子短期大学 鹿児島女子短期大学
14校	57校	47校	20校

文部科学省HP「教員免許状を取得できる大学」より作成

## Ⅱ. 研究方法

### 1. 調査対象者

子ども学科で養護教諭を目指す4年生を対象とし、看護臨床実習および教育実習の経験を有する学生10名とした。

### 2. データ収集期間：2010年10月25日（月）

### 3. データ収集および分析方法

#### 1) データ収集の方法

グループインタビュー法は、日常生活の延長線上での「現実そのまま」の情報に接近できる。メンバーを主体とした質的情報を把握できる。メンバーの行為と、その行為に意味を与える背景状況の両方を把握できる、という特徴をもつ。そこで、本研究では、子ども学科での学びについて学生が自由討論の中で、自分の率直な意見を表現できるグループインタビュー法<sup>3, 4)</sup>を用いて学生の意見を聴取した。

インタビュー対象者8名を1グループとして、インタビュアー1名および記録者1名を調査対象者から選び、観察担当者を学生と顔見知りの教員とした。インタビューの所要時間は80分とし、静かな教室で実施した。なお、インタビューは、「子ども学科で『養護』を学んで」と議題を設定して行った。

#### 2) 分析方法

グループインタビュー内容を記録用紙に起こし、学生の発言したものをデータとしてラベルにして、KJ法<sup>5) 6)</sup>により因子分析をした。

### 4. 倫理的配慮

学生のプライバシーを守るために、学生の個人名が公表されないこと、学生の発言によって成績および人物評価の対象とならないように配慮した。学生には口頭にてインタビュー調査の目的、記録には発言者の名前を明記しないこと、成績評価には影響しないことを説明し、口頭による同意を得た。

## Ⅲ. 結果

インタビューの結果、「養護教諭を目指す学生の思い」として意味の取れる最小単位でデータ化したラベルの総数は107であった。KJ法によりラベルのグループ編成を行い図解化した（図1）。最終的に9分布となり、ラベル数の多い順にAからGとした。

「A：看護臨床実習では知識不足を感じた（30枚）」や「G：援助計画「遊びの援助」は良くできた（4枚）」など、看護臨床実習に関する意見が多くみられた。学生は看護過程を展開するなかで、基本的な知識不足を実感していた。しかし、絵本や紙芝居、折り紙を用いた遊びの援助は自信をもっていた。これは、「B：「保育士」の学びは大切である（27枚）」と関連している。

また、「C：養護実習でも「保育士」の知識は必要である（21枚）」では、保育実習等をとおして身につけたピアノ、声楽、手遊び、壁面作成が保健指導や保健教育で活用されていた。特に、養護

実習への不安を感じた学生はいなかった。

学生からの要望としては、大きく2つ出された。ひとつは、「D:専門的な知識を身につけたい (17枚)」という訴えである。「養護に関する科目は、もう少し専門的に教えて欲しい」や「保育と分けて欲しい」という意見があった。また、「知識を整理できない」、「一つ一つの知識が繋がらない」という意見もあった。2つ目は、「E:“養護”としての学びがしたい」という意見である。養護教諭の視点からの演習やグループワーク、情報交換の機会が少ないという不満が出ていた。Eに関連して、「G:学びを深める」為の具体的な方法として、養護(看護)サークルをつくるという案が出された。学生は「互いに高めあいたい」というニーズを持っていることが明らかになった。

学生は、養護実習や看護臨床実習をとおして、養護の専門的な知識不足を痛感していたが、保育に関する学びから培われた、子どもとのコミュニケーションや子どもの発達理解という点では不安を感じていなかった。

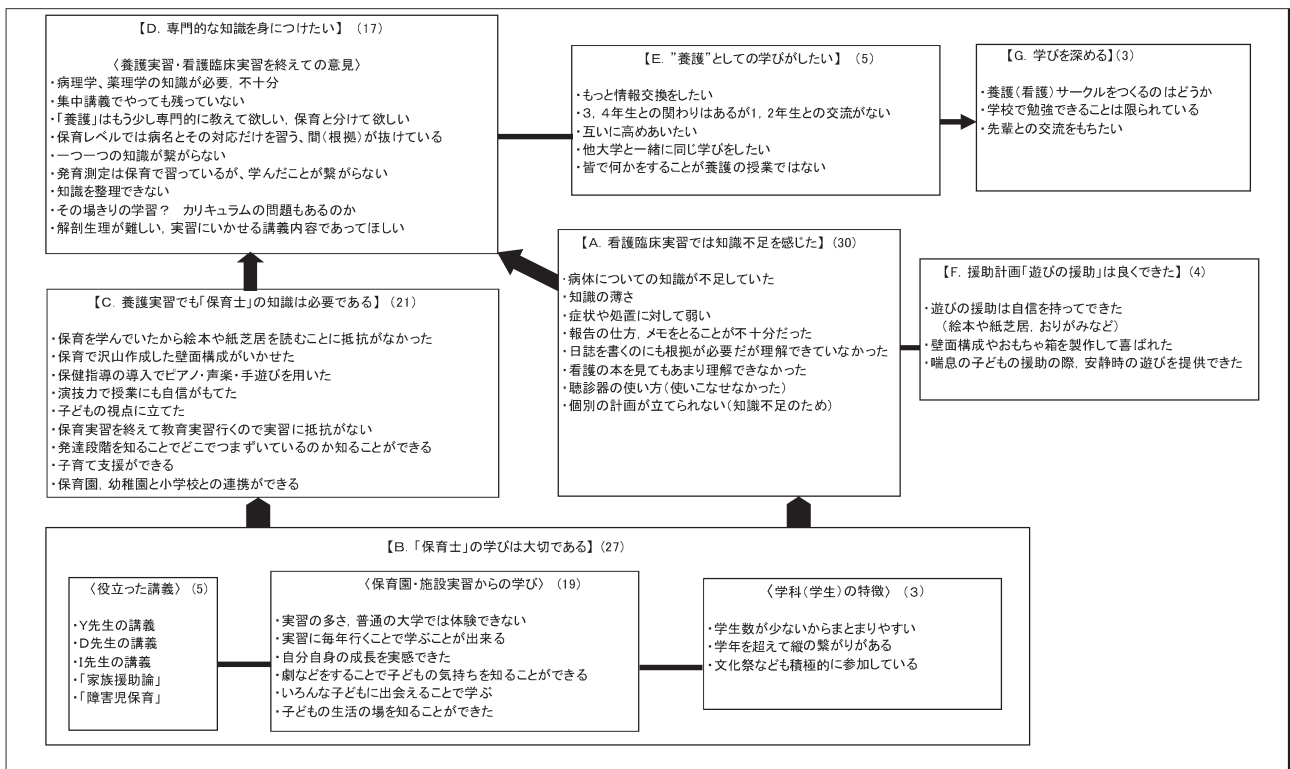


図1. 子ども学科において学んだこと・困ったこと

#### IV. 考察

三木<sup>7)</sup>は、提言や社会の変貌を踏まえた養護教諭に求められる資質能力として、①専門性(スペシャリティ)、②独立性(オリジナリティ)、③調整能力(コーディネート力)、④企画力(マネジメント力)、⑤保健指導力をあげている。

養護教諭を目指す学生は、保育に関する科目の学びが養護教諭としての資質能力を高めると感じていた。特に、保育園実習や施設実習をとおして、経験から学ぶことの大切さ、経験の必要性を感じていた。さらに、学生は実習を通して自分自身の成長を実感していた。子ども学科で学ぶ学生は、

保育園や幼稚園と小学校との連携のあり方、家族支援や子育て支援についての知識をもって「調整能力」を高めることが出来ると考える。また、子どもとのコミュニケーション能力、壁面構成といった教材作成の技術をいかした「保健指導力」も身に付けられると思われる。

しかし、養護教諭としての専門的な知識や学びを深めるという点では、学生は不満を感じていると考える。免許法施行規則に定める科目区分「看護学（臨床実習及び救急処置を含む）」の開講科目をみると、教育系15科目、看護系33科目、学際系5科目と開講科目数に差がある（表2）。子ども学科においては、最低修得単位数の10単位を満たすことはできているが、選択科目数が少ない。このことが、「A：看護臨床実習では知識不足を感じた」、「D：専門的な知識を身につけたい」という不満につながっていると思われる。

養護教諭の養成について岡田<sup>8)</sup>は、「目的を絞る教育が必要でただ無造作にあれこれと取得資格や免許を増やし焦点を暈してはいけない。充実と満足感を持って個々の学生がその目指す目標に向かって、将来自らが歩み進んでいけるだけの濃縮された教育が必要である。」と述べている。学際系の多くは養護教諭が主専攻ではなく、他免許取得との掛け持ち養成となっているため、学習内容の増加による学生の負担や弊害を指摘する意見もある。

しかし、学際系では広く豊かな教養を身につけることができると考える。子ども学科では、養護教諭としてのみならず、保育士や幼稚園教諭という視点から子どもの発達について学び、子どもに関する総合的な知識と技能を高め「子どもの理解力」を身につけることが可能である。また、幅広い実習により実践の場を広げることで、豊かな人間性や社会性、礼儀作法をはじめ対人関係能力、コミュニケーション能力などの人格的資質といった「総合的な人間力」<sup>9)</sup>を高めることができる。これらは、子ども学科で養護教諭を養成することの魅力の1つであると考えられる。

今後、主専攻と養護教諭取得との掛け持ち養成の在り方について、十分な検討を行い、養成を行うことが必要だと思われる。特に、学生が苦手と感じている医学や看護学に関する科目の新設や履修内容の検討を行うなど、教育の充実をはかることは重要な課題である。

また、2010年文部科学省学校基本調査によると、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の学校数より養護教諭（養護助教諭を含む）の配置数は多く、配置率はほぼ100%にまで達し飽和状態になっている。しかし、高等学校、中等教育学校、特別支援学校において複数配置が進んでいると考えられる一方、幼稚園での養護教諭配置率が低いことがわかる（表3）。幼稚園では66.7%が養護助教諭であり、臨時免許状で対応している現状だと考えられる（表4）。

養護教諭の配置率がほぼ100%であるということ、養護教諭養成大学の増加という現状は、養護教員採用試験の現役合格を難関としている要因と考える。そこで養成校の課題として、学生の就職先の確保があげられる。子ども学科では、選択により幼稚園教諭免許と養護教諭一種免許を取得することが可能である。卒業後の進路の一つとして、幼稚園の養護教諭としての選択も視野に入れて養成していくこともこれからは必要になるのではないだろうか。

表2. 養護に関する専門科目および開講科目の比較

免許法施行規則に定める科目区分 養護に関する科目	一種免許状 最低修得単 位数	開講科目名		
		教育学系 A大学 養護教諭養成課程	看護系 B大学 看護学科	学際系 C大学 子ども学科
衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む)	4	公衆衛生学・衛生学 (予防医学を含む) 疫学・衛生学 予防医学	地域保健論 環境生物学	基礎公衆衛生学 公衆衛生学(予防医学を含む)
学校保健	2	学校保健概論 学校保健管理 性教育	学校保健	学校保健 小児保健
養護概説	2	養護概説 養護活動論 I 養護活動論 II	養護概説	養護概説
健康相談活動の理論及び方法	2	健康相談活動 I 健康相談活動 II	地域看護方法論 II	健康相談活動の理論と方法 カウンセリング論 コンサルテーション論 健康教育活動の研究 救急法
栄養学(食品学を含む)	2	栄養学(食品学を含む)	生活栄養学	栄養学 小児栄養
解剖学及び生理学	2	人体の構造 人体の機能 I 人体の機能 II 発育発達論	解剖生理学 I 解剖生理学 II 解剖生理学 III	解剖生理学
「微生物学, 免疫学, 薬理概論」	2	薬物と人間 微生物学 免疫学	薬理学 感染症学 病態生理学 I	微生物学
精神保健	2	精神保健	精神看護学 I 精神看護学 II	精神保健
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む)	10	救急処置 救急処置実習 小児保健 I 小児保健 II 看護学 I 看護学 II 看護学 III 臨床実習 内科学 整形外科 眼科学 耳鼻咽喉頭科学 皮膚科学 歯科保健 障害児保健論	看護学概論 看護技術 I 看護技術 II 臨床看護学総論 看護マネジメント 小児看護学 I 小児看護学 II 成人看護学 I 成人看護学 II 成人看護学 III 老年看護学 I 老年看護学 II 関係法規 保健福祉行政論 生活支援論 保健統計学 疫学 地域看護学概論 地域看護方法論 I 在宅看護論 母性看護学 I 母性看護学 II 基礎看護学実習 小児看護学実習 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I 老年看護学実習 II 精神看護実習 地域看護学実習 I 地域看護学実習 II 在宅看護論実習 母性看護学実習	看護学 I 看護学 II 小児保健実習 看護技術演習 看護臨床実習(救急処置を含む)

各校の2010年度入学生用学生便覧より作成

表3. 学校数および養護教諭の人数

区分	学校数	養護教諭	養護助教諭	計
幼稚園	13392	341	98	439
小学校	22000	21341	1533	22874
中学校	10814	10216	620	10836
高等学校	5116	5973	605	6578
中等教育学校	48	55	2	57
特別支援学校	1039	1484	223	1707

文部科学省HP「2010年学校基本調査」より作成

表4. 現職養護教諭および養護助教諭の免許状種別保有者割合

区分		専修免許状	一種免許状	二種免許状	臨時免許状
幼稚園	養護教諭	0.7%	53.4%	45.9%	-
	養護助教諭	-	-	33.3%	66.7%
小学校	養護教諭	2.1%	73.6%	24.2%	-
	養護助教諭	-	64.2%	30.3%	5.5%
中学校	養護教諭	4.1%	75.9%	20.0%	-
	養護助教諭	-	40.6%	53.1%	6.3%
高等学校	養護教諭	9.4%	74.8%	15.6%	0.0%
	養護助教諭	2.9%	50.0%	27.1%	18.8%

文部科学省HP「2007年度学校教員統計調査」より作成

## V. まとめ

子ども学科において養護教諭を目指す学生の学びを要約すると、保育士に関する科目の履修の必要性、特に保育園実習および施設実習における経験を重要視していた。しかし、養護教諭としての専門的な学びの面では不満を感じていることが示唆された。また、養護実習や看護臨床実習を通して、疾患や看護に関する知識不足を感じていたことから、養護教諭に必要な医学的な知識の定着をはかる為の教育の在り方が課題としてあげられる。

これらにより、子ども学科における今後の養護教諭養成の方向性として以下にまとめる。

- 1) 学生が満足できる専門分野の充実をはかる。教員養成大学のカリキュラムは、その大学の主体性に委ねられている。しかし、養護教諭養成のカリキュラムだけでなく、毎年、講義内容や履修内容の見直しを行い、養護教諭養成教育の充実をはかる。その際には、養護教諭に関する科目の教科担当者間の連携や保育士履修科目担当者との情報交換をはかる必要がある。
- 2) 他免許取得との掛け持ち養成のメリットを学生にも伝え、保育実習体験を学生自らが意味付けしていくという学習形態をとる。また、教員自身も学生の学びを認識しながら養護教諭養成を意図的に行うことが必要である。
- 3) 学生の学習意欲を継続させることのできるような支援方法を検討する。具体的には、学生が提案している「養護（看護）サークル」をつくり、学習支援体制をつくる。



- 4) 養護教諭のニーズにあった教育を行う為に、教育現場と連携がとれるような場や機会を設ける。

## 文 献

- 1) 後藤ひとみ：第7章 養護教諭の教育。(三木とみ子編). 養護概説, 112, ぎょうせい, 東京, 2009
- 2) 岡田加奈子：養護・養護教諭と看護－養護教諭に関連して－. 千葉大学教育学部研究紀要 46：181-192, 1998
- 3) 原田真由美, 岡崎久美, 他：臨地実習における看護過程の教育方法の検討－学生のグループインタビューによる認識からの考察－. 看護総合 34：60-62, 2003
- 4) 村上信, 佐藤真由美, 他：これからの医療ソーシャルワーカーの学部教育を考える－新任ワーカーを対象としたグループインタビューを通して－. 淑徳大学総合福祉学部研究紀要 44：1-8, 2010
- 5) 川喜多二郎：続・発想法 KJ法の展開と応用. 中公新書, 東京, 2004
- 6) 山浦晴男：科学的な質的研究のための質的統合法（KJ法）と考察法の理論と技術. 看護研究 41：11-32, 2008
- 7) 三木とみ子：第6章 養護教諭に必要な資質能力。(三木とみ子編). 養護概説, 95, ぎょうせい, 東京, 2009
- 8) 岡田溪子：短期大学における養護教諭養成について－高知学園短期大学 保健科の場合－. 高知学園短期大学紀要 26：25-36, 1996
- 9) 文部科学省中央教育審議会：新しい時代の義務教育を創造する（答申）. Available at : [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/05102601/all.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/05102601/all.pdf). Accessed January 10, 2011
- 10) 文部科学省中央教育審議会：今後の教員養成・免許制度の在り方について（答申）. Available at : [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/05102601/all.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/05102601/all.pdf). Accessed January 10, 2011
- 11) 正木治恵：看護学研究における質的統合法（KJ法）の位置づけと学問的価値. 看護研究 41：3-9, 2008

(2011年1月31日受理)